

## ツール・ド・コミュニケーション 2003 年度事業報告

### 【概 括】

2003年度はツール・ド・コミュニケーションにとって激変の一年であった。

ツールドは1999年5月にたかとり救援基地(現・たかとりコミュニティセンター = TCC)の中の団体として活動をはじめ、以降、TCC 内の他の団体と協力しながら、IT を切り口に多文化共生のまちづくりに取り組んできた。それが昨夏にTCC内の多言語コミュニティ放送局「FMわいわい」の経営が悪化し、同じTCC内の団体として再生に向け事業協力していくことを8月の臨時総会で決定した。10月には事務所統合も果たして、経営に参画していくことになった。FM わいわいへの事業参加は、情報機器を活用して市民活動、地域活動、マイノリティの自立支援活動をサポートしていく、当団体の目的に沿うものであるが、1999年5月の団体設立以来、“パソコン、インターネット事業”を活動のメインにしてきただけに、大きな舵を切ったかたちになった。

一方、“パソコン、インターネット事業”の受け皿組織づくりにも取り組み、副代表の吉野太郎を軸に、当団体が培ったノウハウやネットワークを継承し、それをより発展させていく新団体「ひょうごんテック(仮称)」の立ち上げ準備を、「木口ひょうご地域振興財団」および「ひょうご市民活動協議会(HYOGON)」とともに進めた。ひょうごんテック(仮称)は2004年6月に設立総会を開催する予定である。

2002年度の下期からの検討課題であった事業のスクラップ&ビルドが外的要因によって一気に進んだかたちになり、団体のメンバーの中には当惑の声があったことは否めない。しかし、団体のおかれている環境に応じて事業内容が目的の範囲内で変化を遂げることは、たかとりコミュニティセンターの中で取り組んでいる多文化なまちづくり活動の一つのプロセスと総括していいだろう。

ただ、2003年度の副代表3名のうち2名(入佐俊明、大坪義一)が任期途中ながら、一定の役割を終えたとの判断から、2004年1月の臨時総会で辞任(運営委員は継続)したことは、上記の事業整理と無関係ではない。団体設立から5年にわたって、屋台骨を支えてきた入佐、大坪の辞任はいわば第1期のツール・ド・コミュニケーションの終焉を物語っているといっても過言ではないだろう。

### 【組 織】

運営委員:入佐俊明、大坪義一、坂田岳彦、日比野純一、吉野太郎

代 表:日比野純一

副 代 表:入佐俊明(1月辞任)、大坪義一(1月辞任)、吉野太郎

監 事:金周司、嶋内良則

事務局スタッフ:大川妙子、日比野純一、村上桂太郎

事業スタッフ:アマルフィ・デデ(緊急雇用事業)、田畑美幸(RE:C、実習生)

梶原精子(Re:C)、坂下典子(Re:C)、高山哲是(多言語事業)

会 員:正会員 20 名、会員 4 名

## 【事業報告】

### <WAVE>

リアルネットワークス社提供(無償)のストリーミングサーバーを活用し社会変革的な市民活動を動画で発信する活動(WAVE)を推進

市民活動団体が映像を使って情報発信するための支援活動を推進

\* 市民活動の情報発信基盤強化を目的に連続講座「メディアを活用した市民活動を学ぶ(電子・電波編)」を9月から10月にかけて実施(全6回)

\* 武庫川の治水を考える連絡協議会の協力を受けて関西学院大学と共同で NPO/NGO のための"ビデオ制作ゼミナール「武庫川撮影合宿 2003」を実施(11月)

真陽たんけん隊

\* 真陽子ども会と共同で3作品を制作(制作期間:8月から12月)

\* 12月14日(日)に駒栄児童館で2003年度の作品発表会

\* 3月14日に神戸協同病院で2001年度からのすべての作品の大上映会

\* 2001年度からのたんけん隊のすべての作品を収めたビデオ作品集を制作し(100本)に真陽子ども会を通じて制作者、協力者に配布

\* 真陽たんけん隊のホームページを更新

多文化な子ども達によるビデオなど表現活動支援(Re:C)

\* 2002 年度活動報告書(正式版)を7月に発行(1000部)

\* 毎週土曜日、日曜日を中心に子ども達の映像制作を支援(8月 - 3月)

\* カフェ「ナフシャ」で上映、展示、実演会を開催(1月)

\* 毎週土曜日に Re:C サロンを開催し、子どもたちが自由にパソコンを利用できる場を提供

\* 毎月2回、土曜日にアニメ DE コミュニケーション、ワールドキッズコミュニティと連携して、アニメーション制作活動を実施(4月 - 11月)

\* SHARP より EVA の試作版のモニター提供(7月)

\* アニメーション作品発表会を開催(10月)

\* アニメーション神戸にアニメ作品出品(11月)

\* ニュースレター(Re:C 通信)を各約 500 部、全 5 号発行し、協力者をはじめ全国に配布(8月、9月、10月、12月、1月)

\* FMわいわいと共同で月1回ラジオ番組を制作、放送(1月 - 3月)

\* ボランティアスタッフ向けにメディア編・多文化編の勉強会を4回開催(7月、12月、2月、3月)

\* 第 4 回ひょうごボランティアスクウェア 21 でボランティア元気アップ賞を受賞(1月)

\* Re:C のホームページを更新

#### < 多言語情報事業 >

多言語情報誌「東西南北」を 26 号から 31 号を発行(4月、6月、8月、10月、12月。28号よりタイ語を追加し、9言語に)

東西南北 WEB サイトを制作、更新

多言語生活情報のポータルサイト“Zurari”を制作

西宮市の多言語生活情報提供 WEB サイト(6言語)を制作

阪神 7 市 1 町 & 兵庫県の在住外国人のための多言語生活情報サイト(13言語)を更新

自治体国際化協会の多言語生活情報サイト(14言語)を更新

多言語生活情報提供活動など多文化社会への取組みの記録 VTR とスライドショーを制作

多言語情報作成ガイドブックの出版に着手

#### < 日本語コンテンツ作成 >

TDC のホームページを更新、小幅修正

TCC のホームページをリニューアル

アクセスビリティを考えた HP 作成に取り組む

武庫川の治水を考える連絡協議会のホームページを制作

良いたべものを育てる会の商品管理データベースを制作

#### < パソコン教室 >

個人レッスンを中心に地域住民を主な対象とした講習を実施

生きがいしごとサポートセンターわーす委託のホームページ作成教室を 9 月、11 月、3 月に実施(各 6 時間)

神戸国際協力交流センターからミャンマーの留学生を対象にした PC 教室を開催(1 - 2月)

個人レッスンを通じてメリーポピンズの会のホームページの作成を支援(11月 - 3月)

コンサルティングを通じて生活の場サポートセンターのデータベース作成支援(1月 - 2月)

県より委託された被災高齢者対象のパソコン体験講座を実施(11月)

#### < 技術サポート >

TCC 内の団体をはじめメンテナンス会員を軸に PC メンテナンスサービスを粛々と実施  
HYOGON 技術支援ワーキンググループを主宰し(5月)、阪神間で PC による技術支援活動に取り組む  
市民活動団体のネットワークを構築し、新団体(ひょうごんテック)の設立に尽力  
被災地障害者センターのサンピンホーさんの実習受け入れ(1月 - 2月)

#### < サーバー運用 >

サーバーを JCAFE に移管し、tcc117.com のホームページを tcc117.org へ転送(5月)  
TCC のファイルサーバー導入に着手  
DNS 勉強会を月 1 回土曜日に開催(10月 - 3月)

#### < 生活復興のための NPO 活動支援事業 >

TCC 実施の「在日外国人コミュニティの自助活動を基盤とする多様なまちづくり」事業の事務局業務を  
遂行  
ツールドの事業として、FM わいわいと協働で TCC ホームページの制作・運営、多文化社会づくり活動  
VTR、スライド制作を実施(10月 - 3月)

#### < その他 >

FMわいわいに事業参画し、事務所を移転・統合(10月)  
大川妙子さんが3月31日付で事務局スタッフを退職  
デデ・アマルフィさんをコンテンツ制作で雇用(10月 - 2月、緊急雇用)  
実習生として関西学院大学の田畑美幸さんを受け入れ(4月 - 12月)  
わーすのトライやるワークのプログラムで石井祐司さん(5月)、曾谷いづ穂さん(2月)を受け入れ  
真陽地域福祉センター(長田区)に地域住民と共同でPCルームの整備に着手  
JCAFE設立10周年記念フォーラム(神戸)開催に協力(10月)  
米国サンフランシスコ、サンノゼのNPOの活動を視察(2月)  
TCCの構成団体としての市民活動、地域活動を展開  
\* TCC10周年誌編集委員会に参加  
\* 多文化まつりを大国公園で開催(11月)  
市民活動のインフラ整備、充実に関わる活動に参加  
\* ひょうご市民活動協議会に参加

\*しみる事業サポートネットワークに参加

\*KOBE外国人支援ネットワーク(misdon)に参加(misdonは3月に解散)

\*NPOと行政の協働会議に参加

\*HYOGONコミュニケーション祭の実行委員会に参加

\*HYOGONユースワーキンググループを主宰し、連続講座「市民活動を学ぶ - 被災地における展開から」を開催